

地域振興県土警察常任委員会資料

(平成25年8月21日)

- 犯罪抑止総合対策の推進状況（平成25年上半期）について …………… 1
(生活安全部生活安全企画課)
- 夏休み中における少年の非行・犯罪被害防止対策会議について ……… 2
(生活安全部少年課)

警 察 本 部

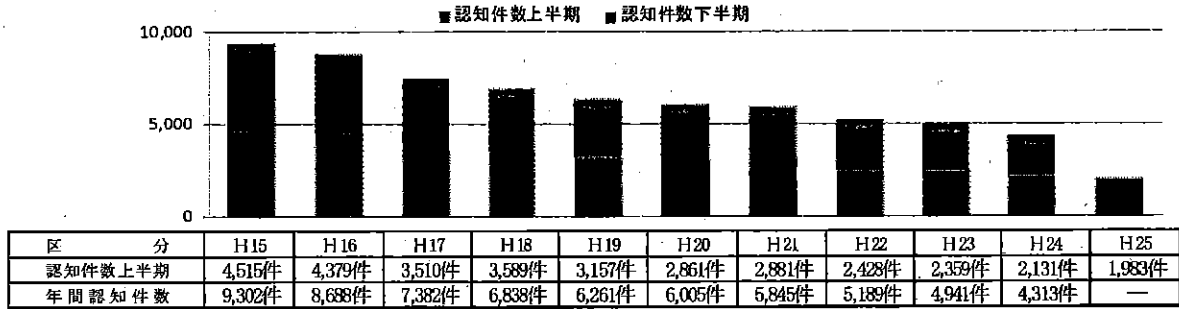
犯罪抑止総合対策の推進状況（平成25年上半期）について

平成25年8月21日
警察本部
(生活安全部生活安全企画課)

平成25年上半期の刑法犯認知件数は、前年同期に比べて減少したが、自転車盗、特殊詐欺などの罪種が増加した状況であり、以下のとおり報告します。

1 刑法犯認知件数の状況

- 最多であった平成15年上半期(4,515件)の43.9%(1,983件)まで減少した。
- 前年上半期に比べ148件減少した。



2 重点犯罪認知件数の状況

区 分	認知件数 総 数	計	重点犯罪							
			自転車盗	車上ねらい	自動販売機ねらい	性的犯罪	侵入窃盗	特殊詐欺	器物損壊	万引き
H25	1,983件	1,223件	367件	108件	6件	10件	157件	15件	213件	347件
H24	2,131件	1,268件	323件	154件	19件	9件	229件	11件	198件	328件
増減	-148件	-45件	44件	-46件	-13件	1件	-72件	4件	15件	19件
率%	-6.9%	-3.5%	13.6%	-29.9%	-68.4%	11.1%	-31.4%	36.4%	7.6%	5.8%

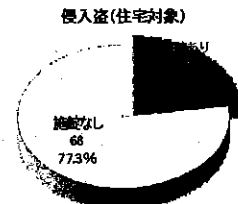
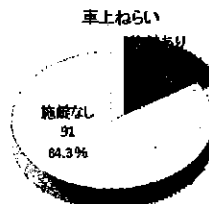
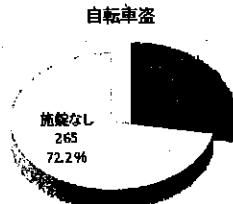
注1： 重点犯罪とは、自転車盗、車上ねらい、自動販売機ねらい、性的犯罪、侵入窃盗、特殊詐欺、器物損壊、万引きをいう。

注2： 特殊詐欺とは、オレオレ詐欺、架空請求詐欺、融資保証金詐欺、還付金等詐欺の振り込め詐欺や金融商品等取引名目、ギャンブル必勝情報提供名目、異性との交際あっせん名目の詐欺などをいう。

- 重点犯罪認知件数は45件（3.5%）減少した。
- 特に車上ねらい、自動販売機ねらい、侵入窃盗が減少した。
- 自転車盗、特殊詐欺が増加した。
- 自転車盗、車上ねらい及び侵入窃盗では、施錠なしの被害の割合が高い。

区 分	総 数	施錠あり	施錠なし	全国平均施錠なし
自転車盗	367件	102件(27.8%)	265件(72.2%)	58.4%
車上ねらい	108件	17件(15.7%)	91件(84.3%)	43.3%
侵入窃盗(住宅対象)	88件	20件(22.7%)	68件(77.3%)	42.3%

注：侵入窃盗は、住宅対象88件を対象とした。



3 下半期に向けた抑止対策の推進事項

- 地域の犯罪情勢に即した効果的な犯罪抑止対策の推進
- 自主防犯意識の向上と防犯ボランティアの活性化
- 防犯カメラの設置拡充に向けた継続的な働きかけの推進
- 特殊詐欺抑止対策の継続的な推進
- 地域安全パトロール隊の活用

夏休み中における少年の非行・犯罪被害防止対策会議について

平成25年8月21日
警 察 本 部
(生活安全部少年課)

夏休み中における少年の非行・犯罪被害防止対策を効果的に推進することを目的に実施したものの。

1 概要

最近の少年非行や犯罪被害の現状等を学校など関係機関と保護者が知ることで、少年を取り巻く環境を共通認識し、地域と一体となった少年を取り巻く環境浄化を強力に図り、上記目的を達成することを狙いとして行ったもの。

2 開催日時・場所

平成25年7月27日(土) 午前10時から午後0時20分
鳥取県警察本部大会議室

3 出席者

- 知事部局関係課(教育・学術振興課、青少年・家庭課、医療指導課)
- 教育委員会(高等学校課、小中学校課、家庭・地域教育課)
- PTA(各小・中・高等学校連合会)
- 少年警察ボランティア(少年健全育成指導員)
- 警察(少年課、各警察署少年係、スクールサポーター) 合計64名

4 会議状況

警察本部生活安全部長、教育委員会代表者のあいさつの後、

- 警察本部から、インターネットを利用した誘い出しによる性犯罪被害対策や不審者事案を踏まえた対応及び学校警察連絡制度の概要
- 県医療指導課、青少年家庭課から、違法ドラッグ・脱法ハーブの規制を強化した薬物の濫用の防止に関する条例や青少年育成条例の一部改正の概要
- 教育委員会から、少年が使用する携帯電話などのフィルタリングの実態調査状況

の説明を行った。



5 PTAからの意見・要望など

PTAの代表者は、携帯電話、スマートフォン等のインターネットサイトの活用方法等の理解不足等から、少年に対するフィルタリングによる利用制限などの啓発や指導方法について不安を感じており、

- インターネットサイトを通じた掲示板での誹謗中傷や犯罪被害が多く起きているが、少年や保護者に対する正しい使い方を理解させて欲しい。
- レーティングシールの貼付されているゲームソフトを18歳以上向けの物と陳列場所を区分するよう店舗を指導して欲しい。

等の意見・要望に合わせて、「丁寧に説明していただけてよく分かった。他の保護者にも少年を取り巻く現状を知って貰いたいので、この会議を継続してやって欲しい。」という反響も得られた。